

1日も早い災害廃棄物処理を目指します



フジタ・東亜・青木あすなろ・大豊・本間・河北・佐藤JV

焼却灰を場外搬出しています

先月号のQ&Aでも取り上げましたが、焼却灰を仙南処分場、小鶴沢処理場に搬出しています。搬出している焼却灰に関しては、事前に検査を行い、基準を満足したものを運搬しています。下の写真は、焼却灰搬出時にダンプの左右1mのところの放射線量を測定している状況です。

毎日、6台のダンプが2回往復し、処分場・処理場へ運搬しています。



山元JV伊藤主任技術者
よりひとこと

山元JV構成会社、岩沼市の(株)佐藤建設の伊藤健登です。震災ガレキからの再生材・最終処分材の搬出を担当しています。山形出身ですが、山元町は父の仕事で、幼稚園のころからお世話になっている町です。地元の為になる復興に頑張りたいと思います。

(左写真の真ん中が伊藤さん)

Q: 山元町役場が解体されましたが、そのコンクリートくずも処理しているのですか？

A: はい。山元町役場は地震の被害により使用できなくなり解体されましたが、解体工事で発生したコンクリートくずを二次仮置場で処理し、再生骨材を製造しました。アスベスト混じりの材料がありましたが、処理する前に分別し、フレコンパックに詰めることにより飛散を防止しています。山下第二小学校の解体材料も処理しました。

処分量(3月20日現在)

		変更予定量(t)	累計処理量(t)	進捗率(%)	備考
焼却量		117,000	73,863	63%	主灰:21,079t、飛灰:1,953t
搬入量	木くず	67,000	57,615	86%	
	混合ごみ	387,000	76,977	20%	
	コンクリートくず	170,000	160,093	94%	
	津波堆積物	513,000	322,866	63%	かさ比重は1.46t/m ³ とした
搬出量	コンクリート再生骨材	199,000	160,860	81%	新浜の仮置場等への搬出量
	津波堆積物処理土砂	782,000	367,809	47%	
	主灰搬出(小鶴沢)	-	1,628	-	
	飛灰搬出(仙南)	-	680	-	

4月の業務予定

	第1週	第2週	第3週	第4週	第5週
【破砕選別工】					
災害廃棄物	運搬、破砕				
津波堆積物	運搬、選別				
焼却灰固着不溶化処理	固着・不溶化				
【搬出工】					
津波堆積土砂	新浜仮置場へ搬出				
コンクリートがら	新浜仮置場へ搬出				
主灰	小鶴沢処理場へ搬出				
飛灰	仙南処分場へ搬出				
【焼却工】					
キルン炉・ストーカ炉	焼却				
バイオマス発電設備	発電				

焼却灰の放射能濃度

主灰	450Bq/kg	2月26日
飛灰	2770Bq/kg	測定

二次仮置場の空間線量(μSv/h)
3月20日測定

事務所前	0.033
木くず	0.074
コンクリートがら	0.067
津波堆積物	0.178
金属くず	0.038
主灰保管テント内	0.111
飛灰保管テント内	0.350

※地上1mの高さ、廃棄物から1mのところ測定しています

お問い合わせは
0223-37-7451
まで

発行: 災害廃棄物処理業務(巨理名取ブロック(山元処理区))
フジタ・東亜・青木あすなろ・大豊・本間・河北・佐藤 特定業務共同企業体
〒989-2202 宮城県巨理郡山元町高瀬宇浜砂1-4
電話:0223-37-7451